

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--|------------|----------|
| 事業所番号 | 2991000015 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス関西株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム香芝(ユニット1)【評価結果は2ユニット総合結果である】 | | |
| 所在地 | 奈良県香芝市五位堂1丁目341-1 | | |
| 自己評価作成日 | 令和6年3月20日 | 評価結果市町村受理日 | 令和6年4月1日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | https://www.kaiqokensaku.mhlw.go.jp/29/index.php?action_kouhyou_detail_007_kani=true&JiqyosyoCd=2991000015-00&ServiceCd=720 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人ぱ・まる |
| 所在地 | 大阪府堺市堺区三宝町二丁目131番地2 |
| 訪問調査日 | 令和6年3月27日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・2ユニットで平屋建ての構造を活用しユニット間をご入居者が自由に移動する事で少しでも閉塞感が無い様に対応させて頂いております。 ・積極的にご入居者様の残されている能力を活用して頂ける様に日常生活動作を通してADLの維持向上を目指しております。 ・共用型デイサービスを運営しており、外部の方が毎日来られるのでその方々との関わりも日々の刺激として生活させて頂いております。 |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>施設が平面構造である為、利用者はユニット間を自由に移動しながら、利用者個々が自分の過ごし方と居場所を選択出来る状況です。利用者が身体を動かせることを大切にされており、近隣への散歩や施設内の活動にこだわられています。利用者が動ける、動くに配慮し、運動能力の維持向上に留意されています。利用者は、地元地域の方が大半であり、併設のデイサービス利用者との交流等で、地元の方々との継続した交流が確保されています。利用者の日々の楽しみである、食事も大切にされており、3食とも手作りで暖かい食事が取れるよう心がけられています。コロナ禍の制限緩和に伴い、屋外食事レクリエーション等も再開拡充されています。施設全体では、毎週、往診と訪問看護が入っており、日常的に利用者を支える医療体制が確保されています。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 【評価結果は2ユニット総合結果である】 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 入社後のオリエンテーション(入社時研修)を通して法人の理念を伝えています。 | 法人全体で地域密着型を意識した、利用者の生活を大切にしたいスローガンが掲げられています。利用者の尊厳を大切に、言葉使いや関わり方に留意し、過度にフランクとならないよう配慮されています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 新型コロナの影響で地域との交流は出来ていません。 | 従前は、自治会活動への参画や、地域の他福祉施設との交流等が積極的に展開されていましたが、コロナ禍の制限下において、従前のような展開が困難な状況でした。制限緩和に伴い、可能な範囲からの再開拡充が予定されています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 共用型デイサービスのご利用者様・ご家族様に限られるが在宅での介護について助言させて頂いている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議にてホーム内でのイベントや日々の生活の報告を行い、要望等をお聞きしサービスの向上に繋がります。 | 行政・利用者家族の参加があります。施設運営状況の報告共有等が、行われています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 相談、報告を行い指導を頂いています。 | 利用者の経済面での課題等に対して、行政との連携が行われています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関についてはご入居者様の安全を最優先に考えると施錠をせざるを得ず、解放できていません。身体拘束については一切行っておらず、定期的な研修も実施しております。 | 3ヶ月に1回、適正化委員会が開催されており、チェックシートによる振り返りと検討、研修も同時に行われています。職員のストレスにも配慮しており、心理的な要因から拘束や虐待に繋がる事がないよう留意されています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 3か月毎に不適切ケアチェックを行い、虐待防止に努めています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者は学ぶ機会があるが職員にはその機会がないので今後は検討していかなければならないと考えている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 質問や疑問点がないか確認をし同意を得られるまで説明を行っている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に一度ご家族様へアンケートを実施し要望等を頂き改善に努めている。 | 毎年法人全体として、家族等アンケートが実施されており、アンケート結果は各施設にフィードバックされています。面会や電話の際には、家族等が意見等言いやすい状態となるよう配慮されています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 申し送りやカンファレンス等にて意見・情報を共有し反映するよう努めている。 | 毎月、ユニット会議と全体会議が開催されており、職員等の意見表出の場となっています。不定期ですが、必要に応じた随時の個人面談の機会等があり、意見聴取の機会になっています。職員の意見を基に、食事提供方法の改善に繋がられた事例が確認出来ました。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 資格支援制度・キャリアアップを導入 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修制度を実施し学ぶ機会を設けている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他事業所との会議は行っているが、管理者のみが参加している。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人様の様子や言動に寄り添い傾聴した事を記録、共有し馴染の関係づくりに努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様から要望や自宅での生活歴などの情報を頂き、ご本人様に沿った支援が出来るように努めます。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 状況をお聞きし、必要なサービスの提案をさせていただきます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人様の出来る事を見極め支援させて頂くと同時、他者様との交流の橋渡し役に努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご本人様についての相談や報告をし一緒に支援をして頂いています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族様やお知り合いの方の面会の機会があり関係が途切れないよう協力をして頂いています。 | 地元地域出身の利用者が大半であることから、同じく地元利用者が大半である併設のデイサービスと共同での活動や交流が日常的に行われています。コロナ禍の制限下において、制限されていた、家族等との外出等が再開拡充されています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員がご利用者様同士の橋渡し役になるよう努めています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご退去後、必要な時には情報提供をさせて頂いています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 出来る限りご本人様、ご家族様の意向を取り入れ生活して頂けるよう努めています。 | 入居前から介護保険利用の利用者については、従前の介護支援専門員からの情報提供や情報共有が行われており、利用者の意向の経緯等の把握に繋がられています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族様にいろいろな情報をお聞きし、またご本人様にも聞き取りをさせて頂き状態の把握に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 記録・申し送りとうで状態や状況の把握に努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | カンファレンスを行い状態、状況にあった改革書の作成に努めています。 | アセスメントと短期計画の更新が3ヶ月毎に行われており、担当職員を加えたカンファレンスが実施され、計画の更新に繋がられています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子やケアの実践は個々の介護記録に記載をし共有しながら今後の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人様にとってより良いサービスが受けられるようご家族様にも意見をお聞きし取り組んでいる。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 出来ていない為今後の課題としている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 往診医とご相談をして頂き、適切な対応が受けられるよう支援しています。 | かかりつけ医は、利用者の意向で決定されています。施設提携医療機関からは、毎週、往診と訪問看護が入っており、日常的に利用者を支える医療体制が確保されています。専門医については、必要に応じた外来受診が行われています。希望者には、月2回の歯科医による往診があります。必要に応じた月1回の精神科往診体制もあります。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師にはご本人様の状態を報告し、適切な指示を受けられるよう支援しています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時にはカンファレンスに参加し、医療機関との連携をとり情報共有に努めています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時にもお伝えしていますが、再度ご家族様にホームでの出来る事を書面にてお話をさせて頂きチームでの支援に取り組んでいます。 | 重度化と終末期の指針が策定されており、利用開始時に説明し同意を受けています。看取り希望がある場合は、主治医と家族等の話し合いを踏まえ、終末期の介護計画策定が行われています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 連絡体制、対応については状況に応じ医療従事者に指示を仰ぐよう周知しています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の訓練を実施。(消火器、AED使用の訓練を行っている) | BCP(事業継続計画)の策定が進行しています。飲料水・食料品の備蓄品リストが整備されており、消費期限等含め管理されています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の人格を尊重し、プライバシーに配慮した声掛けを心掛けたいです。 | 3ヶ月に1回、チェックシートによる振り返りと検討、研修も同時に行われています。利用者のプライバシー空間を大切にされています。日常の利用者との対話の中で、言葉かけが利用者の尊厳を損なうことがないよう留意されています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 言葉や表情などにも気を付けながらご本人様の思いをくみ取り、働きかけるよう配慮しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人様の様子に合わせて支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 洋服などはご本人様がどれにするかを選択できるように支援しています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事を楽しんで頂く。食器洗いを一緒にして頂いています。 | 毎日3食手作りの温かい食事の提供を行う事を大切にされています。屋外での食事レクリエーションが再開されており、利用者の楽しみの幅も広がられています。利用者と共に、日常のおやつ作りや、イベント時の特別な食事等も、楽しみとして定着しています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事・水分量は記録し情報共有しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 起床時、食後、就寝前には口腔ケアを実施し、歯科医との連携を取り対応をしています。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の状態に合わせ、トイレでの排泄の支援を行っています。 | 利用者の排泄自立の維持を大切にされており、トイレでの排泄が継続出来るよう努められています。誘導時には、利用者が羞恥心を抱くことが無いよう、言葉がけや動作に配慮されています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事や水分に工夫をし、医師にも状態を伝え個々に対応をしています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ご本人様のタイミング見合わせ入浴が出来るよう支援しています。 | 予定入浴が基本ですが、利用者の状態や意向を踏まえ、時間帯や日、タイミングを替える等、柔軟な対応が行われています。利用者個々の都癖卵を踏まえた、誘導となるよう配慮されています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | その日の状態に合わせて休息して頂いています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 医師、薬剤師の指示のものと的確に服用して頂いています。変更などがあればご本人様ご家族様に報告しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|------------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ここに合わせた役割を持って頂けるよう支援しています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご家族様にもお手伝い頂き出かける機会を設けるよう支援しています。 | コロナ禍の制限下において、従前のような外出が困難な状況でしたが、制限緩和に伴い可能な範囲から再開されています。家族支援による外出が拡充されています。近隣への散歩等、利用者の意向に沿った柔軟な対応に努められています。 | コロナ禍の制限下において、制限されていた外出の再開拡充に期待します。 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を持つ事、使う事の大切さは理解しているが、最近では機会がなく支援が行えていない。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様からの電話や手紙等のやり取りが出来るよう支援しています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の飾りつけや日時が分かるもの、天候や室内温度にも気を付けて快適に生活できる工夫をしています。 | 温度・湿度・換気・清潔保持に留意し、快適な生活空間となるよう配慮されています。ユニット間が平面構造の為、利用者もユニット間移動をされ、居心地の良い居場所の選択肢が増えています。共用空間内には、テーブル・椅子・ソファ・畳等、様々な居場所が確保されており、利用者の気分や意向に沿った選択肢が幅広く用意されています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間にはソファなどを置き個々でくつろげるよう工夫をしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 以前から使用しご本人様にとって馴染の物を持って来ていただき居心地良く過ごせる環境を作る工夫をしています。 | 居室は、利用者が従前から使用している家具や、思いのある装飾品・備品等が持ち込まれています。居室内の清掃は、可能な範囲で利用者自身によって行われています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 安全に移動でき自立した生活が送れるような環境作りを行っています。 | | |